

川原地区公民館の活動紹介

川原地区公民館は、川原地区公民館（川原畜産管理センターを借用）を拠点に、八つの自治会が協力して公民館活動に取り組みんでいます。本年度は「連携・協力」をテーマとして、隣接する麓地区公民館、花瀬地区公民館と一緒に進めて行く活動に取り組みました。

麓地区公民館とは、同公民館長の山下敏郎氏が発案、音頭を取り、両地区にまたがる山中にある「勝尾城址」を公園として復元させるため、事業実施のため両地区による検討会及び現地調査を行いました。調査の結果、残念ながら実現できませんでしたが、勝尾城址の場所や現状を確認し、また両地区の交流を図る素晴らしい機会となりました。

花瀬地区公民館とは、例年町民体育大会において合同で競技に参加しています。その他にも昨年度より合同グラウンド・ゴルフ大会を計画していましたが、雨天等により実施できませんでした。来年度は五月に実施の計画をしており、実現することを願っています。

川原地区独自の活動として

しては、辺志切自治会内に「雄川の滝展望所」の看板設置や滝見大橋付近に桜の植栽を行うなどの景観整備や、地区公民館敷地内に国旗掲揚台の設置を行いました。また八月二十日に川原グラウンドにて行われた南松園慰問の夕べにおいて、青年部で焼き鳥の屋台を出店しました。

二月五日には、川原グラウンドにてグラウンド・ゴルフ大会を実施しました。約100名程が参加し、大変活気のある大会になりました。また大会に併せて南部消防署職員の方に消火器の取扱いについて、講習をしていただきました。

二月二十六日には、女性部の視察研修を実施し、十八名の女性部員が参加しました。積極的に熱心な方が多く、昨年



勝尾城址復元検討会の様子

度は鹿屋市のやねだんを視察（二十名参加）し、今年度は最近オーブンした志布志いるから（敷地内の物産館、露店など）を視察しました。

今後とも地区の方々楽しく参加できて、そして得るものがある活動を行っていただければと思います。



グラウンドゴルフ大会の様子

宿利原地区公民館の活動紹介

宿利原地区公民館は、11の自治会で構成されており、各自治会が協力し合い活動を行っています。宿利原地区公民館は、「楽しめる地域づくり・誇りある地域」をテーマとし、年間を通して様々な活動を行っています。毎年8月に行う納涼大会は、小中学生による郷土芸能や若者による日本舞踊、各自治会の婦人部による踊りや太鼓の演奏な

ど、地域一体となり盛り上がりつつあります。また、12月18・19日には、第3回大根やぐらライトアップイベントを開催し、乾燥大根の販売や豚汁の無料配布、農機具の展示などを行い、町内外から多くの方々の来客があり大変好評でした。

このイベントは、地域の子供達から大人・農家の方々などに協力を頂き、半年前から実行委員会を重ねて行うイベントで、地域の特産品を誇りあるものに変えようとの思いで毎年行っているイベントです。とても寒い時期ですが、干し大根の購入やライトアップされた大根やぐらを目当てに来られる方が年々増えているようです。

また、地区では旧宿利原中の跡地活用の一環として地区公民館主催による公民館講座を昨年から行っています。今年度は、



真っ暗な中に浮かび上がる大根やぐら



男の料理教室は24名集まりました。

楽しい踊り教室と題し日本舞踊を数回にわたり習ったり、男の料理教室と題し、ニワトリのさばき方やそばの作り方などを学びました。この活動は、跡地活用の一環として行いながら、講座とおして交流を持っていただくとともに、講師として活躍の場を持つて頂くことを目的として行っています。この活動以外にも、グラウンドゴルフ大会や小学校・地区合同の運動会、戦没者の慰霊祭なども行っています。また、地域の安心安全や独居老人の見回りをされる青パト隊に地区公民館から負担をするなど、安心安全、楽しめる地域・誇れる地域を目指し活動を行っています。少子高齢化により年々人口は減少していますが、少数でも楽しめる地域を目指し、活動を行っていききたいと思います。